



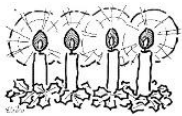
クリスマスってなあに？

12月。コロナウイルス感染症の えいきょうが 大きかったこの1年。登園したら、まず手洗、など、さくらっこちゃんたちも、感染予防をする、という 生活にも なれてきたようです。

さて、さくらっこでは、子どもたちと一緒にクリスマスを迎える準備を始めました。クリスマスの前のこの4週間をキリスト教では「アドベント（待降節）」といいます。1週間に1本ずつ、ろうそくに灯をともしながら、イエス様のお誕生を待ちます。

四本のろうそく

四本のろうそくにはそれぞれ「希望」「平和」「よこび」「愛」という意味があります。「待つ」ということの大切さ、そしてろうそくの灯が増えるとともに明るさが増すことを感じながら、ろうそくに灯をともしていきたいと思っています。そして大切なことばは「カード」にしるして、玄関に飾っていきます。小さなカードですが、ほごしゃのかたもぜひ、読んでみてくださいね。
(園長 國分とし子)



*** 12月の予定 ***

- 16日(水) 園児健診(12月は0, 2歳がうけます)
- 25日(金) さくらっこ保育園にSさんが来る!?
- 25日(金) にじいるメニュー(メニューはおたのしみに)
- ※ 29日~1月3日 年末年始のお休み
- ※ 休みの間の緊急連絡先 國分園長



「なまえ」をつけたプレゼント

子どもが生まれて一番初めにもらうプレゼント、それは「なまえ」です。さくらっこ保育園では一人一つのすてきな名前を大切にしたい、と願っています。そこで今年も保護者の皆様の手で、ネームプレートをかわいく飾っていただき、クリスマスにはそのネームプレートをつけたバッグをプレゼントしたいと思っています。バッグの中身はおたのしみにね♡

献金箱

クリスマスは神さまの子どもであるイエスキリストを私たちにくださった日です。クリスマス献金はそのことに対する私たちの「ありがとう」という気持ちと、「平和」を願う気持ちを「献金」という形で神さまにささげ、隣人のために役立て、ともにクリスマスの喜びを分かち合うものです。

さくらっこの子どもたちもひとりずつ「献金箱」を作っています。お金に対してはそれぞれのご家庭でお考えがとおりかと思いますが、このクリスマスの意味を子どもたちといっしょに考えていただく機会として、お気持ちをよせていただけたら嬉しく思います。

なお、この献金は地震や台風などの災害にあわれた方や、福祉施設などに送らせていただきます。
(くわしくは後でお知らせします。)



12月 うまれの おともだち おたんじょうび おめでとう

せんいる ちゅっかはむにだ
생일 축하합니다 (かんこく・ちょうせんでは)

* プライバシー保護のため
なまえはのせません

♪ こんげつのさんびか うれしい うれしい

1. うれしい うれしい クリスマス
かん かん かん かん かねのおと
こどもの すきな イエスさまの
おうまれ なさった このよいひ
うれしい うれしい クリスマス
かん かん かん かん かねのおと

2. 高光 高光 圣诞节

叮 叮 叮 叮 鐘 声
小 孩 喜 欢 的 耶 稣
诞 生 这 个 好 日 子
高 光 高 光 圣 诞 节
叮 叮 叮 叮 鐘 声



コロナウイルスを ぶせぐために

11月23日(月)に さくらっこの園内を 除菌(菌を とりのぞく)、と 抗菌(菌が つきにくなる)の 作業をしました。 専門の会社の人が 「バイオプロテクト」という くすりを、こまかい きりのようにして 吹き付けていきました。 菌がつきやすく、のこりやすいところは、ステンレスや、プラスチックのように、つるつるした場所だそうです。お部屋だけでなく 水洗いがむずかしい 木のおもちゃなどにも 吹き付けてもらいました。 インフルエンザの流行など、ほかの感染症も 心配となるこれからの季節。 コロナウイルス感染症の対策を ゆるめることなく、いま、きをつけて 感染の ひろがりを 防ぎたいと思います。